



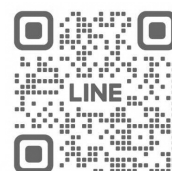
教育・保育施設等における園児の 食物アレルギー事案の発生防止対策



Copyright (C) 2026 保育安全のかたち 遠藤

活動紹介

- ▼ 幼稚園教諭 / 保育士
 - ・ 施設長勤務 (-2011)
 - ・ 救命講習インストラクター
- ▼ そなすくらボ 所長
 - ・ 防災士 / アドバイザー
- ▼ 保育園看護師キャリア支援



『保育安全のかたち』

<https://child-care.ne.jp/>

月2回、オンライン勉強会の参加者も募集中

今回お伝えする内容

- ① 保育のアレルギー対応の基本原則
- ② 誤食事故を回避するための対策例
- ③ 対策してもヒューマンエラーが起きる
- ④ 計画にもとづく保育の振りかえり

- ① 初期評価：発生時の注意ポイント
- ② 「なぜ？」の前に、ここを見て！
- ③ 呼吸原生心停止と人工呼吸
- ④ 研修体制をつくろう

保育のアレルギー対応の基本原則

- 全職員を含めた関係者の共通理解の下で、組織的に対応
- 医師の診断指示に基づき、保護者と連携し、適切に対応
- 地域の専門的な支援、関係機関との連携の下で対応の充実を図る
- 食物アレルギー対応においては安全・安心の確保を優先する

出所 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン(2019年改定版)

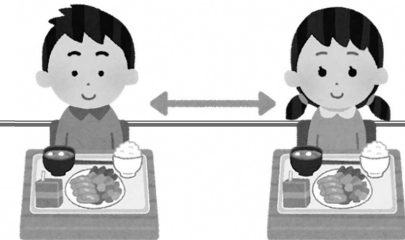
食物アレルギー対応の目的とは



- 〇〇〇〇〇が、子どもの体内に入ることを防ぐ
- 症状を発症して、重篤化することを防ぐ

誤食事故を回避するための対策例

- 誤食を防ぐために専用トレイ・色の違う食器の利用、配膳カードの活用
- 検食ほか複数スタッフによる二重チェック
- 専用マニュアルの作成と日々の確認
- 対応食の先出し、距離をとったり、専用スペースでの食事



「分業」から職種の壁をこえた協働

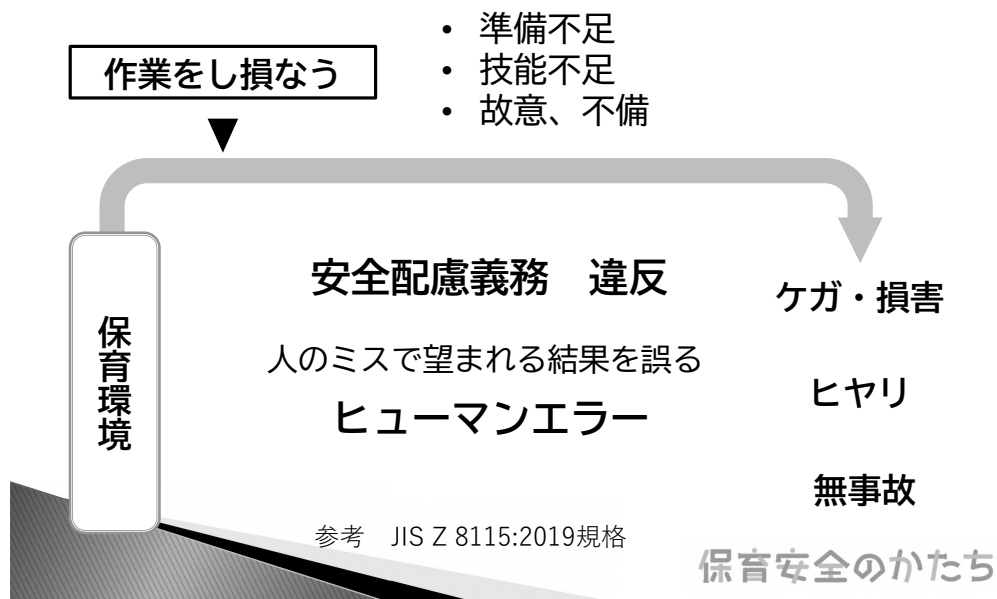


対策してもヒューマンエラーが起きる

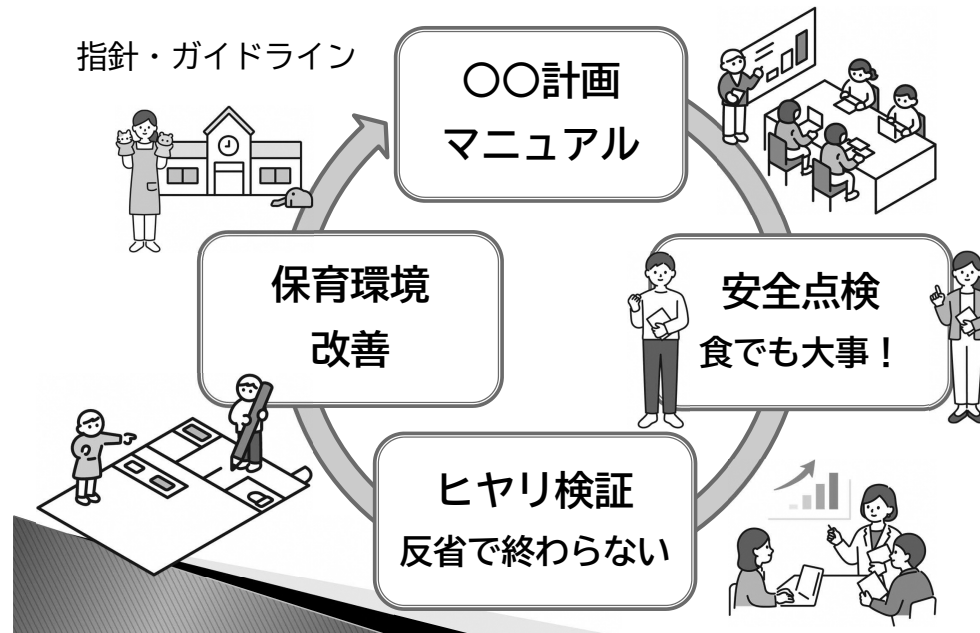
- 「これくらいは大丈夫よ」と少量を食べさせた（情報の不足と思い込み）
- 給食センターと施設間の情報交換が不足
- 持ち寄りの手洗い石鹸が原因で…（食品由来への配慮と周りの理解と協力）
- 延長保育の時間におやつを食べて…（保育体制の変化と引継ぎ不足）
- おやつのおかわりを間違えて配膳

出所 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン(2019年改定版)

ミスの防止とエラーの回避の区別



計画にもとづく保育の振りかえり

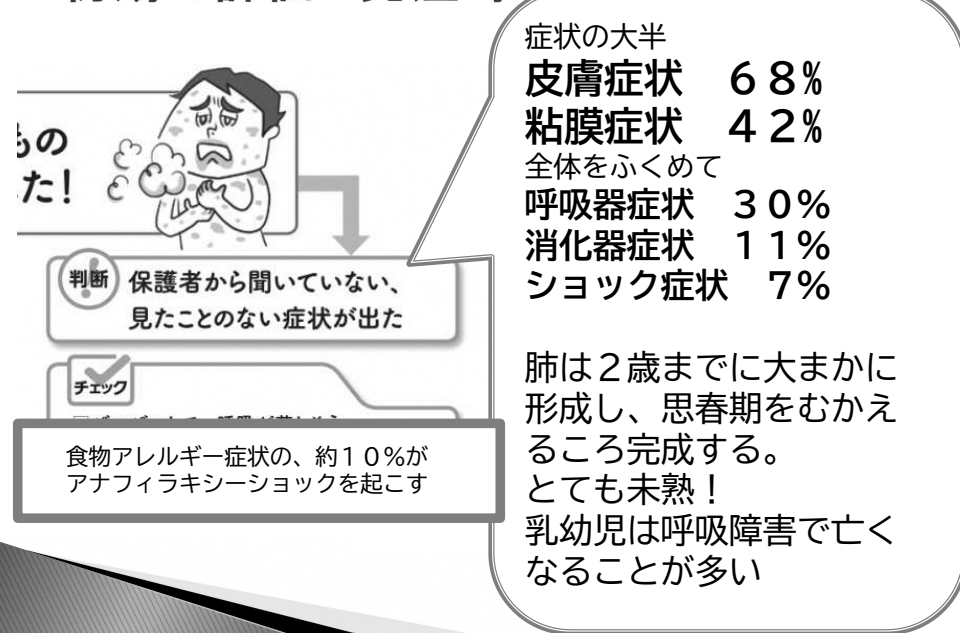


保育のリスクマネジメントの考え方

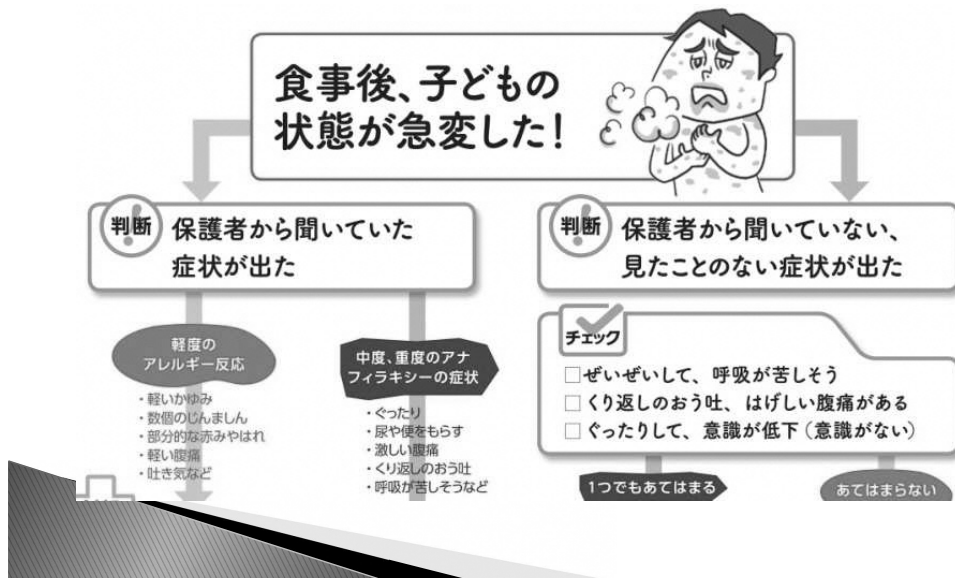
- ① お腹がすくリズムのもてる子ども
 - ② 食べたいもの、好きなものが増える子ども
 - ③ 一緒に食べたい人がいる子ども
 - ④ 食事づくり、準備にかかわる子ども
 - ⑤ 食べものを話題にする子ども
- 出所 楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針～



初期の評価：発症時の注音ポイント



初期の評価：発症時の注意ポイント



「なぜ？」の前に、ここを見て！

- A) ○○： 表情が苦しそう。早そうで、おしゃべりが十分にできない
- B) ○○： 問題ない状態のときと異なる感じ。口の周辺の色がおかしい
- C) グッタリ感： もたれたがる。立てない、座る姿勢が保てない、ねむそう

保育所職員がエピペンを打つ要件

- 医師のみの絶対的医行為
医行為を、反復継続する意思をもって不特定の人に対して行なうこと（医業）
- 医師以外のものも行なえる相対的医行為
- ① 医ケア児に対する医療的介護といった、特定の子どもに対する医行為
- ② 非常災害時などの緊急避難的行為
(※ 緊急なら何をやってもいいわけではない)

参考：医師法第17条、歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条の解釈について

応急手当と使い捨て手袋の使用

できるだけ早く、きれいに治そう！
切り傷・すり傷(出血)

判断 子どものケガでもっとも多いのは、切り傷やすり傷です。絆創膏で隠れる程度の大きさの、浅いすり傷であれば、消毒薬はできるだけ使わず、水で洗って、自然の治癒力で回復させるのが、一番傷アトを残さずに治せます。傷口を清潔に保ち、感染症を防ぐことも重要です。

対応 傷が浅いときの止血方法

POINT 基本は水洗いして様子を見る

対応 出血が多い時の止血方法(直接圧迫止血)

POINT 必ず手袋予防グローブをつけて、指先を消毒せよ。

POINT 感染予防グローブをつけよう

POINT 予防のためにできること

● 子どもはケガをして当たり前という意識を変えて、園全体で予防策を考える。

● 感染予防グローブをつけたり、手洗いしたり、感染予防を意識する。

● おさんぽのときは応急処置ができる道具や、汚れを落とす水などを持参する。

呼吸原性心停止と人工呼吸について

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた
市民による救急蘇生法について(指針)

子どもの心停止に対しては、講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、人工呼吸も実施する。

※子どもの心停止は、窒息や溺水など呼吸障害を原因とすることが多く、人工呼吸の必要性が比較的高い。(出典：厚生労働省)

研修体制をつくろう

各保育所におけるヒヤリ・ハット事例及び事故情報の収集・共有を通じてアレルギー対応に関する事故防止の取組を進めるなど、地域におけるアレルギー疾患対策の質の向上を図る

アレルギー疾患を有する子どもへの対応については、関係者が共通認識のもとに組織的に取り組んでいくために、定期的・継続的な研修の実施等による知識及び技能の向上が重要